

免疫力を上げることは体だけでなく、
心も強くすることが大切だと考えられた方の手記。

「治ることがないと思い込んでいた自分。その考えが 変わりました（潰瘍性大腸炎手記）」

匿名希望 35 歳

2017 年 8 月 27 日

【発症から松本医院にかかるまで】

今から約 12 年前、腹痛・下痢・血便・微熱などの症状が強くなり病院へ。実は血便は高校生の時から症状はありましたが、若さゆえに、ほったらかし状態でした。その後、気にはなりながらも、そのまま時が経ち、結婚をし、子供が 1 歳位になった頃。

それが 12 年前。調子が最悪の状態になり、病院へ。すぐに内視鏡検査をし、そのまま入院へ…。医者からは「潰瘍性大腸炎という難病です。奥様は保健所へ行って、特定疾患の申請をすぐしてください」と…。何が起こったのか、わからず、言われるがままに。

潰瘍性大腸炎に関しては色々と調べ、一般的な知識は入院中に頭に入りました。そこでの治療は、点滴と絶食、サラゾピリンの投与。ただ、薬疹が出たため、サラゾピリンからペンタサへ変更し、そのタイミングでステロイドを投与される。飲みたくはなかったが、早く退院したい気持ちが強く、飲み続けました。

症状は少しずつマシになり、40 日後に退院。

退院後：ステロイドとペンタサ。たまに注腸。

強い薬を飲みながらも、緩解期と活動期を繰り返していたため、免疫抑制剤を投与される。

2 人目の子どもが欲しかったため、潰瘍性大腸炎に詳しい医師がいる病院へ。すぐに免疫抑制剤はやめ、少しずつステロイドもやめました。約 2 年間は「麻薬」を体に入れていました。その後、ペンタサのみになり、通常の生活を過ごしていました。

ただ、1 年の中で季節の変わり目（特に春）に悪くなることが多く、我慢の日々が続いていました。去年はすごく楽に 1 年を過ごせましたが、2017 年

の4月にきつめの活動期がやってきました。もちろん、「また来たか・・・少し大人しくして我慢の時期かな」と思って乗り切ろうと思っていたところで・・・。

【松本医院との出会い】

妻が通っている整骨院で、病気のことを話したら、高槻にいい病院あるよと教えてもらいました。早速、調べて、真っ先に思ったことが「え？完治するの？ならば行くしかないよ！」ということになり、すぐに受診。HPや手記もある程度見てから受診したため、皆さんの手記通りの先生や病院でしたので、戸惑いはなかったです。妻と受診し、色んな話をして頂きましたが「君は早く治るよ」と言ってくださった言葉が、自分の背中を押してくれました。

【受診と体調について】※受診時は毎回、鍼灸を受けています。

① 初受診：2017年6月3日

体調：下痢、血便をはじめ、アレルギーの咳なども出て、体調不良真只中

処方：漢方（断痢湯・芍帰膠艾湯）、フラジール、ビオフェルミン、アシクロビル16錠

※この日にペンタサとは、バイバイしました

② 6月10日

体調：腹痛はあるが、出血はなくなる。トイレの回数も少し減る（漢方の効果、すごい）

処方：漢方（断痢湯・冷打撲一方・神秘湯）、フラジール、ビオフェルミン、アシクロビル16錠

※このあたりから首と頭の痛みが出てくる

③ 6月24日

体調：腹痛と首痛がひどい。お腹の調子は良くなっている。腕に少し湿疹。吐き気も強い。

処方：漢方（断痢湯・冷打撲一方・神秘湯）、フラジール、ビオフェルミン、アシクロビル16錠

④ 7月8日

体調：腹痛と首痛がひどい。お腹の調子は良くなっている。吐き気、立ちくらみ、疲れやすい。

処方：漢方（断痢湯・冷打撲一方・神秘湯）、フラジール、ビオフェルミン、アシクロビル20錠

⑤ 7月22日

体調：変わらず、腹痛と首痛がひどい。お腹の調子は良くなっている。吐き気、

立ちくらみ、疲れやすい。

処方：漢方（治打撲一方）、アシクロビル24錠

※アプローチをヘルペスに絞っていく

⑥ 8月5日

体調：頭痛が少し残るくらいで体調は良い。ただすぐ眠たくなる。

処方：漢方（治打撲一方）、アシクロビル20錠

⑦ 8月18日

体調：体調は良い。疲れや眠たくなるのは、まだあるが、体が本当に楽になりました。

処方：漢方（治打撲一方）、アシクロビル20錠

6月後半から7月の終わりごろまで、体調が一気に悪くなるが、お腹の調子は上向きに。首、背中、腰の痛み。吐き気や頭痛もひどく、食欲も低下。つらい1カ月でしたが、すぐに持ち直し、全体的に体調が上向きになり、一安心です。

【最後に】

今はまだ経過報告で、完治の手記ではないですが、少し思うことがあるので書きます。まず、ほかの手記でもあるように、松本医院（治療方針）、そして先生は、本当に独特です。ただ、こんなにも体調がよくなると、行ってよかったと思います。（自分にはすごく優しいので）

※怖い、怒られるイメージがありますが、なんでも言うこと！わからないことは聞くこと！は、したほうがいいです。相談するほうがいい方向に進みます。ただ自分でも勉強は必要なので、忘れずに・・・。

まだ、治療方法を変更してから、期間も経っていないので、これからどうなるかは分かりませんが、自分を信じて免疫を上げたいと思います。

正直、治療代はビックリするくらいかかります。潰瘍性大腸炎を治す目的があっても正直、かかります。ただ、考え方が「自己免疫を上げる」ことなので、潰瘍性大腸炎だけではなく、もともと持っているアレルギーも治すことが出来る。さらにこの先、病気をすることが少なくなる体になる。それを考えると、今の自分だけではなく、未来の自分への投資だと考えると安いものだと思います。

さらに、体だけではなく、心の免疫も強くなると思います。今まで「病気だから、病気のせいで」という弱い自分がいて、色んな言い訳を作り、家族に迷惑をかけることも多かったです。（仕事、日常生活などで）ただ、病気にならない体があれば、心も強くなり、今よりも楽しく（心が）楽な生活が出来るのではないかと思います。もちろん周りに病気をいうこともなくなり、周りの変な気遣いもなくなり、色んな意味でのストレスがなくなるのではないかと思います。

います。

いま松本医院で治療中の方は、自分より先輩方なので、やはり松本医院を知って行こうか悩んでいる方へのメッセージになればと思い手記を書きました。

また、報告します。





